

特別活動を充実させるために

## 特別活動を再確認しよう

### Q1 特別活動が担う役割は何ですか？

子どもたちが、これから生きていかなければならない社会は、変化が激しく、複雑な人間関係の中で新しい未知の課題に試行錯誤しながら対応することが求められる難しい社会です。このような社会をたくましく生きていかななくてはならない児童生徒にとっては、このような複雑で変化の激しい社会での生き方などについて体験的に学ぶ場が必要になります。特別活動は、その重要な場や機会として、学校教育における**望ましい集団活動や体験的な活動を通して**、実際の社会で生きて働く社会性を身に付けるなど、児童（生徒）の人間関係形成能力を育む教育活動です。

ズバリ！充実した特別活動は、子どもたちの「人間形成」に大きく貢献します。



発達の段階に応じた活動や体験を通して体得させたい資質や能力

- ・自分のよさや個性を生かして、多様な他者と共に、社会、自然・環境とのかかわりの中で、これらと共に生きる自分への自信をもたせること。
- ・基本的な生活習慣を確立するとともに、公共の精神など社会生活を送る上で必要な資質や能力など。

### Q2 特別活動の目標と内容はどのようなものですか？

	小学校	中学校
目標	<b>望ましい集団活動</b> を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や <b>人間関係</b> を築こうとする <b>自主的、実践的な態度</b> を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。	<b>望ましい集団活動</b> を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や <b>社会</b> の一員としてよりよい生活や <b>人間関係</b> を築こうとする <b>自主的、実践的な態度</b> を育てるとともに、 <u>人間としての生き方についての自覚</u> を深め、自己を生かす能力を養う。 <small>波線部は小学校と中学校での違い</small>
内容	学級活動（１）（２） 児童会活動 クラブ活動 学校行事（１）～（５）	学級活動（１）～（３） 生徒会活動 学校行事（１）～（５）

目標では、「自己を生かす能力を養う」部分も再確認しましょう。内容は、小学校では４つ、中学校では３つになります。

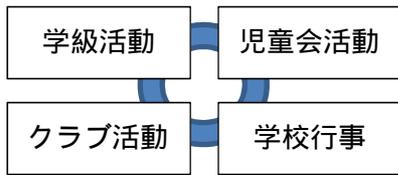
### Q3 特別活動の特質とはどのようなものですか？

- （１）**集団活動**であること。学級集団や、学級や学年の枠を外して組織された集団による活動です。
- （２）**自主的、実践的な活動**であること。実際の生活経験や体験学習による学習、すなわち「なすことによって学ぶ」ことを方法原理とする活動です。

**Q4 特別活動はどのように指導していくのですか？**

**(1) 特別活動の内容相互の関連を図ります。**

【小学校】

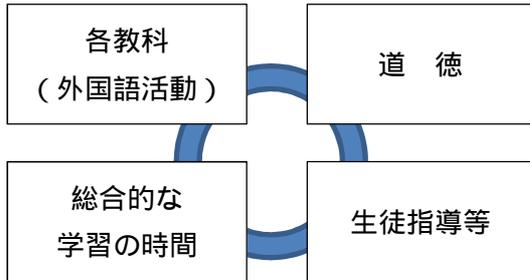


【中学校】



学級での話し合い活動を基に、児童会（生徒会）活動や学校行事等をつないでいる取組や、あいさつ運動や奉仕活動など小中で効果的に接続した取組も見られます。

**(2) 各教科・領域等との関連を図ります。**



例えば、特別活動における学級や学校生活における望ましい集団活動や体験的な活動は、日常生活における道徳的実践の指導をする重要な機会と場になります。



**(3) 特別活動で育てたい資質・能力と、評価方法等の共通理解を図ります。**

評価の観点は次のようになります。各学校では、学級活動、児童会（生徒会）活動、クラブ活動、学校行事について観点ごとに設定することが考えられます。また、各活動・学校行事ごとに設定した評価規準に即して「**目指す児童（生徒）の姿**」を記入することも考えられます。そして、設定した評価規準等に照らして実現状況を、事前、本時（当日）、事後の一連の活動を通して**多面的・総合的に評価**します。

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団（や社会）の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の集団や自己の生活に関心をもち、望ましい人間関係を築きながら、積極的に集団活動や自己の生活の充実と向上に取り組もうとする。	集団（や社会）の一員としての役割を自覚し、望ましい人間関係を築きながら、集団活動や自己の生活の充実と向上について考え、判断し、自己を生かして実践している。（ ）は中学校	集団活動の意義、よりよい生活を築くために集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方、自己の健全な生活の在り方などについて理解している。

児童生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、指導の過程や成果を評価し、指導の改善を行い学習意欲の向上に生かすようにします。

これらのことから、6(3)年間を見通した特別活動の全体計画、各活動・学校行事ごとの年間指導計画を作成し、全教職員で共通理解を図ることが重要になります。



こうした特質や指導過程を考えると、**特別活動の充実が**

- ・いじめの未然防止
  - ・学力向上
  - ・自己有用感を育むこと
- にもつながります。

月  
日  
( )

自己有用感...「自尊感情」や「自己肯定感」といった自分から自分への評価ではなく、自分が行ったことを他人から認めてもらった、自分が相手にした働き掛けを相手から評価されたというように、相手の存在が前提となって生まれてくる感情。

特別活動を充実させるために

## 学級における望ましい集団活動の推進を図ろう

### Q1 「学級活動のすべての内容を意図的、計画的に指導する」とはどういうことですか？

以下の内容について、どの学年においてもすべて指導することです。小学校第1学年は34単位時間、第2～6学年はそれぞれ35単位時間、中学校は年間35単位時間にわたって行うように計画します。

小学校	中学校
<p>〔第1学年及び第2学年〕 「仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常生活や学習に進んで取り組もうとする」</p> <p>〔第3学年及び第4学年〕 「協力し合って楽しい学級生活をつくとともに、日常生活や学習に意欲的に取り組もうとする」</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕 「信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくとともに、日常生活や学習に自主的に取り組もうとする」</p> <p>〔共通事項〕</p> <p>(1) 学級や学校の生活づくり</p> <p>ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ 学校における多様な集団の生活の向上</p> <p>(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全</p> <p>ア 希望や目標をもって生きる態度の育成 イ 基本的な生活習慣の形成 ウ 望ましい人間関係の形成 エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解 オ 学校図書館の利用 カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成</p>	<p>学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応に資する活動を行うこと。</p> <p>(1) 学級や学校の生活づくり</p> <p>ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ 学校における多様な集団の生活の向上</p> <p>(2) 適応と成長及び健康安全</p> <p>ア 思春期の不安や悩みとその解決 イ 自己及び他者の個性の理解と尊重 ウ 社会の一員としての自覚と責任 エ 男女相互の理解と協力 オ 望ましい人間関係の確立 カ ボランティア活動の意義の理解と参加 キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成 ク 性的な発達への適応 ケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成</p> <p>(3) 学業と進路</p> <p>ア 学ぶことと働くことの意義の理解 イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用 ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用 エ 望ましい勤労観・職業観の形成 オ 主体的な進路の選択と将来設計</p>

発達の段階に即した指導を心がけることがポイントです。



中学校では、ガイダンスの機能を充実させるよう指導の工夫をしましょう。

中学校学習指導要領解説 P.48,49 参照

特に、活動内容(1)においては、予想される議題(題材)を扱う時期と時数を年間指導計画に明確に示す必要があります。できる限り児童生徒の、自発的、自治的な活動が進められることが望まれ、こうした経験を積み重ねることが大切です。

**Q2 「よりよい人間関係や居がいのある学級集団づくり」に必要なことは何ですか？**

(1) ~ (3) の特質を踏まえた話し合い等の活動過程にすることが大切です。集団決定や自己決定したことについて、集団や個人で努力をし、目標の実現を目指します。児童生徒一人一人について理解を深め、教師との信頼関係を基盤に指導の充実を図ります。

< 「話し合い活動」の一連の活動過程の例 ( 小学校 ) >  
 小学校学習指導要領解説 p.47 より

中学校の ( 2 ) 適応と成長及び健康安全と ( 3 ) 学業と進路 はこちらに入ります。

	学級や学校の生活づくり	日常の生活や学習への適応及び健康・安全
事前の活動	<p>教師の適切な指導の下に、児童が次の活動を行う。</p> <p>①よりよい学級や学校の生活づくりにかわる諸問題を見付け、提案をする。</p> <p>②協力して達成したり、解決したりする共同の問題(活動)を決めて、問題意識を共有化する。</p> <p>③目標を達成したり、問題を解決したりするために、全員で話し合うべき「議題」を決める。</p> <p>④話し合いの柱や順番など、話し合い活動(学級会)の活動計画を作成する(教師は、指導計画)。</p> <p>⑤話し合うことについて考えたり、調査したりして、自分の考えをまとめるなど問題意識をもつ。</p>	<p>教師が意図的、計画的な指導構想の下に次のようなことを行う。</p> <p>①年間指導計画において取り上げる題材についての学級の児童の問題の状況などを確認する。</p> <p>②個々の児童が共通に解決すべき問題として授業で取り上げる内容を決めて、児童に伝え、問題意識を共有化させる。</p> <p>③個々の児童が共通に解決すべき問題として「題材(名)」を決める。</p> <p>④導入、展開、終末の指導計画を作成し、事前調査をしたり、資料を作成したりする(発達段階に即して児童の自主的な活動を取り入れるようにする)。</p> <p>⑤授業において取り上げる問題について自分の現状について考えたり、学級の現状を調べたりして問題意識をもつ。</p>
本時の活動	<p>話し合い活動  <b>集団討議による集団目標の集団決定</b></p> <p>○協力し、話し合いの柱や順番など、話し合い活動(学級会)の活動計画を作成する(教師は、指導計画)。</p>	<p>話し合い活動  <b>集団思考を生かした個人目標の自己決定</b></p> <p>○自己決定したことを基に、個人として努力し、目標の実現を目指す。</p>
事後の活動	<p>○集団決定したことを基に、役割を分担し、全員で協力して、目標の実現を目指す。</p> <p>○活動の成果について振り返り、評価をする。</p>	<p>○自己決定したことを基に、個人として努力し、目標の実現を目指す。</p> <p>○努力の成果について振り返り、評価をする。</p>

事前、本時、事後の一連の活動過程が繋がっていることが重要です。



コミュニケーションのスキルを身に付けさせるための活動も、学級活動の特質を踏まえ、教師からの一方的な指導で終わらないようにします。

**Q3 「積極的に関わり、適切に指導する」とはどういうことですか？**

学級活動の目標があくまで自主的な態度の育成にあることを考え、自主性や主体性の育成に力点を置くあまりに、「支援」と称して学級活動として育むべき態度等の指導がおろそかになることがあります。ですから、積極的に関わり、適切に指導し、「放任」にならないように十分留意します。特に、小学校では発達の段階による教師の適切な指導が欠かせません。

学級活動や体験活動では、PDCA サイクルを生かし成長につなげる事後指導が重要です。「振り返り」「改善」「実践」を繰り返し、児童生徒の願いを叶えるようにします。そうすることで、「やらされている活動」を「自分たちで作りあげている活動」へと意識を変えることが大切です。これらの積み重ねで、「学級・学校文化」が創られていきます。下図は、学級活動(2)のPDCAサイクルの例です。



特別活動を充実させるために

# ねらいを明確にした体験活動の実施のために

## Q1 「ねらいを明確にし、事前・事後指導の充実を図る」ためにはどうしたらいいですか？

各活動・学校行事で設定している評価規準を、それぞれの指導計画の事前、本時（当日）、事後などの一連の活動過程において、「十分満足できる活動の状況」を具体的な児童（生徒）の姿として示した「目指す児童（生徒）の姿」を明確にします。そして、全教師の共通理解と連携の下、育成したい態度や能力が一人一人の児童（生徒）に身に付くように組織的、計画的に取り組みます。

<健康安全・体育的行事の年間計画例（中学校） 参考資料② p.50 より>

平成〇〇年度 健康安全・体育的行事年間計画

### 1 健康安全・体育的行事の内容

心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の醸成、体力の向上などに資するような活動を行うこと。

### 2 健康安全・体育的行事の評価規準

集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
心身の健全な発達や健康の保持増進、運動などに関心を持ち、自主的、自律的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。	学校や学年の一員としての自覚を持ち、安全な行動、規律ある集団行動の仕方などについて考え、判断し、協同して実践している。	健康安全・体育的行事の意義や、心身の健康の保持増進、安全な生活、体力向上の方などについて理解している。

地域の方々にも参加してもらい、一緒に活動したり、評価したりすることも考えられます。



小中連携した取組を充実させるためにも、発達の段階に応じた評価規準や目指す児童（生徒）の姿の共有化が大切です。

### 3 年間計画

※ゴシック体は、事例で取り上げた内容

月	行 事	狙い	時 数		
			1年	2年	3年
4	健康診断	自分の体の成長を知り、健康の保持増進に関する理解を深めさせる。	1	1	1
5	避難訓練	火災などの緊急時の行動の仕方を身に付け、安全な生活に対する理解を深めさせる。	1	1	
6	交通安全指導	歩行や自転車運転時の交通規則を理解させ、事	1	1	

各行事等の指導に当たっては、学級活動や生徒会活動との連携を図ることが重要です。また、それぞれの活動のつながりを意識して指導に当たることで、より教育効果を高めることができます。

<運動会の指導計画例 同 p.51 より>

平成〇〇年度 運動会（健康安全・体育的行事）指導計画

### 1 狙い

- 運動に親しみ、規律ある集団行動を体得させるとともに、運動会実行委員会を中心とした活動を通して、自主的、実践的な態度を育成する。
- 異年齢集団を基本とした取組を通して、自己の役割を自覚させ、所属する学級やブロックへの所属感を深め、共に協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を形成する。

### 2 指導計画

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
事 前	<運動会実行委員会の設置と実践目標の設定> ・生徒会の協力の下、生徒の運動会実行委員会を組織する。 ・運動会の実践目標を決定する。	・生徒会役員や運動会実行委員の役割を明確にさせる。 ・運動会の狙いを踏まえた実践目標を、各学級で話し合い、運動会実行委員会で決定させる。	【関心・意欲・態度】 ・委員の選出や実践目標づくりに関心を持ち、自主的、自律的に関わろうとしている。 【観察】
	<ブロックの編成と活動> ・3学年からなる複数のブロックを編成し結団式を行う。 ・ブロックごとに応援練習を	・ブロックリーダーを中心にブロック集会などを行い、所属感を深める。 ・準備を通して、生徒相互の	【知識・理解】 ・運動会の意義やブロックの活動への参加の仕方を理解している。

ねらいを達成したときの児童（生徒）の具体的な姿とその評価方法がわかります。事前、本時（当日）、事後の一連の活動過程で、3つの観点全てを見取ります。

さらに、各活動・学校行事と日常生活までつなげて指導し、生徒の成長を促しましょう。



## Q2 学びの手応えを実感させるための振り返りの充実とはどのようなものですか？

体験活動では、真剣に取り組んでいればいるほど活動そのものに夢中になり、気づきなどが意識されないことがあります。そこで、体験の節目や事後に活動したことを言語化することにより振り返り、それによって考えが整理され、意識化、内面化が図られるようにしたいものです。そのためには、児童生徒自身の行動や考え方、人間関係の変化等様々な意識の変化について、活動後に振り返る機会を設けることが必要です。このような成長への感覚が自己肯定感へつながり、新たな行動目標が生まれることとなります。

振り返りでは、児童生徒自身による自己評価や児童生徒同士による相互評価、教員からの評価等が考えられます。教師は、結果だけでなく、活動の過程における児童生徒の努力や意欲を積極的に認めたり、個人あるいは集団の変容等を積極的に見取るように努めます。こうした振り返りの蓄積は、教員の評価の資料として参考になりますが、体験活動等では学級担任以外が指導にあたることも多いので、事前に全ての教師が共通理解しておくことが不可欠です。

<振り返りカードの例（中学校）同 p.53 >

<資料⑧> 学校行事カード

学校行事カード( 運動会 )

年 組 番 氏名

- 1 行事の目標
  - ・運動に親しむとともに、規律ある集団行動をする。
  - ・自分の役割を自覚し、自主的に活動して自分の責任を果たす。
  - ・互いに協力して取り組み、学級やブロックの絆を深める。
- 2 行事で大切なこと
- 3 自分の役割や係
- 4 自分の目標
- 5 振り返り
 

	とても そう思う		
	A	B	C
① 自ら進んで取り組もうとした	A	B	C
② 自分の役割を果たすことができた	A	B	C
③ 周りの人との絆を深めることができた	A	B	C
④ 学んだことを今後の学校生活に生かそうと思う	A	B	C
⑤ 自分の目標を達成できた	A	B	C
- 6 この行事で学んだことや感想

評価規準と照らして、学校行事等のねらいを児童生徒に分かりやすい言葉で示します。

事前に指導した学校行事の意義である「協力」「自主性」「役割と責任」などに関連する記述から、【知識・理解】の観点について見取ることができます。

話し合い活動等で決定したこと等を振り返ることで、自己評価の力を高めたり、指導の参考にしたりします。また、次の活動への意欲にもつながります。

ここでは、児童生徒の取組や変容、友達や学級への思いなどが読み取れます。【思考・判断・実践】の評価の参考にもなります。

参考資料（特別活動を充実させるために ～ 共通）

1 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（小学校 特別活動編）

2 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校 特別活動編）

（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成23年11月）

3 楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成26年6月）

4 学級・学校文化を創る特別活動 中学校編（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成28年3月）

学習指導案の例も載っていますので参考にしてください。



### 1 題材「合唱コンクールへの参加」

事前、本時、事後の一連の活動を指して題材とします。  
小学校では、学級活動の(1)は「議題」になります。  
×「題材名」「議題名」

### 2 題材について

#### (1) 生徒の実態

本学級の生徒は、明るく活発で何事にも誠実に取り組もうとしている生徒が多い。...(略)... 互いを認め合って尊重し合う態度に欠けているところもあり、...(略)...

これらは、互いを思いやり、認め合う、また自分らしさを発揮しながら、多様な人間関係を築く経験の少なさによるものと考えられる。

そこで、年度当初より楽しく豊かな、望ましい人間関係を築く充実した生活を送る基盤となる学級づくりに話し合い活動を中心に様々な方法で取り組んできた。...(以下略)

- ・題材に関する生徒(児童)や学級の実態(よさや課題)を記します。
- ・実態を踏まえたこれまでの指導の経緯等や、本時で目指す生徒(児童)の姿や学級の変容等の概略、教師の構想や指導観等を記します。

#### (2) 題材設定の理由

中学校の生活に慣れ、人間関係や学校内での立場や役割が固定化されてくる2年生のこの時期は、明確な目的意識をもたずに様々な活動に取り組むことが多い時期でもある。...(略)...これまでの生活上の課題を明確にし、3学期につなげていくために、以下のアンケートを実施した...(略)...

また、複雑で変化の激しい現代社会においては、人間関係の希薄さや社会参画への意識の低さが課題となっている。...(略)...よりよい人間関係を築いたり、自治的能力を育んだりすることがこれまで以上に求められている。...(略)...

そこで、...(略)...このような課題を解決していくとともに、将来社会で必要とされる資質・能力を育成するために、本題材を設定した。

題材の意義(設定の趣旨)等や、学級担任としての思いや願い、題材を捉える視点等を記します。

### 3 指導のねらい

○学級の一員としての自覚を高め、学級に対する所属感や連帯感を深める。

○互いのよさを認め、支え合いながら協力して実践する態度を育む。

- ・事前・本時・事後の指導や生徒(児童)の活動を通して、児童生徒に身に付けさせたい力や実践的な事項、育てたい力等を箇条書きで記します。
- ・例えば、本題材であれば、音楽や道徳の時間、合唱コンクール等、他の教科や学校行事等とのねらいの違いを理解した上で指導を行うことが重要です。

小学校では「第3学年及び第4学年の評価規準と目指す児童の姿」等と題し、学校で定めた評価規準を記述します。

#### 4 本題材における評価規準と目指す生徒の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	学級生活の向上や諸問題の解決に関心をもち、合唱コンクールへ向けた活動に自主的、自律的に取り組もうとしている。	学級の一員として自己の役割と責任をもち、諸問題の解決に向けて多様な意見を生かし合い、その方法を考え、判断し、互いに信頼し合って実践している。	合唱コンクールを成功させる意義やそれに向けて学級で取り組むことの意義、諸問題の解決法について理解している。
目指す生徒の姿	・話し合い活動が深まるよう自主的、自律的に課題を考えている。	「目指す生徒（児童）の姿」は、上記の評価規準を踏まえ、本題材（議題）のねらいや内容に即して、『十分満足できる状況』を示します。事前・本時・事後の活動全体を見通して、バランスよく設定します。必ずしも本時（1時間）の中で全ての観点を評価する必要はありません。	

- ・1時間ごとに評価規準を作成するのではなく、各学校で定めた評価の観点や評価規準を記します。
- ・小学校の学級活動（1）では、「話し合い活動」「係活動」「集会活動」の三つの活動形態があります。低・中・高学年の発達の段階に即して「活動形態別の評価規準」を設定しておくことが考えられます。（参考資料①p.34）
- ・中学校では、学級活動（1）（2）（3）の三つの内容のまとめりに即して評価規準を設定することが考えられます。（参考資料②p.30）

#### 5 学校課題（研究主題）との関連

学校課題（研究主題）に迫るための授業の組立や指導の重点、具体的な手立て等を記します。

#### 6 他の教育活動との関連

- ・年間指導計画を基に、特に関連のある教育活動や体験活動、日常生活との関連について記します。
- ・中学校学習指導要領解説 p.44 に「各教科、道徳（外国語活動）及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図る（小学校学習指導要領解説 p.40）」とあるように、特別活動と他の教育活動を関連付けて指導していくことが重要です。特に、学級活動は「学級経営の要」でもあり、日常生活と意図的に関連付けて指導を行い、児童生徒の自主的・実践的な態度等を育成します。

#### 7 指導の過程

##### （1）事前の指導と生徒の活動

期日	活動の場 【活動形態】	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と 評価方法
9月22日 (金)	帰りの会 【学級全員】	・合唱コンクールについてのアンケート調査を行う。  生徒（児童）の立場で記述します。	・昨年度の映像を見せ、活動への意欲を高める。  教師の立場で記述します。	【関心・意欲・態度】 ・話し合い活動が深まるよう自主的、自律的に課題を考えている。  〔観察〕 〔評価カード〕

9月25日 (月)	放課後 【学級活動委員会】	・アンケート調査を集計し、課題を選定する。 ・提案理由を練り上げ、本時の活動計画を立て話合いの柱を検討する。	・生徒の思いを聞きながら、本時の流れなどを検討し、活動の見通しをもてるようにする。 ・生徒の活動が、自治的能力の育成につながっているかを意識しながら必要に応じて指導・助言する。	【関心・意欲・態度】 ・話合い活動が深まるよう課題を選定し、自主的・自律的に話合い活動の準備を進めようとしている。  〔観察〕  〔評価カード〕
略				

「計画委員の活動が全員の活動か」(活動形態)を記述します。

- ・学級全体や個の活動計画(調査・資料収集等も含む)や「目指す生徒(児童)の姿」を記します。
- ・学級活動委員会と学級全員の活動を別に表記する書き方(参考資料 3p.55)もあります。

## (2) 本時の指導と生徒の活動

**議題** 「合唱コンクールを成功させるための目標を決めよう」

### 本時のねらい

学級活動(1)では、生徒(児童)によって設定された議題を記入します。

- 合唱コンクールに向けた学級の取組に関心を持ち、互いの考えを生かし、合意形成を図る。
- 学級の一員としての自覚を深め、合唱コンクールに向けての活動意欲を高める。

本時の活動で達成を目指す具体的な実践事項や、本時を通して獲得を目指す具体的な資質や能力を記します。評価規準や本時における目指す生徒(児童)の姿との関連を図り記述します。

### 人権教育上の視点

本時のねらいや学習内容、指導方法等が「育てたい資質・能力」等とどのように関連しているかを記します。

### 生かしたい生徒

を受け、「育てたい資質・能力」等に関して、本時の中で意図的に支援を行う生徒(児童)を設定し、どのようなことに配慮したり、どのようなよさを取り上げたりするのかを示します。

## 展開

	活動の内容	指導上の留意点	学校課題との関連 人権教育上の配慮 目指す生徒の姿と 評価方法
活動の開始	1 開会の言葉 2 学級活動委員の紹介 3 議題の発表・確認 4 提案理由の説明 5 教師の話	・学級活動委員会で検討された過程、経緯を示した上で、本時の概要を学級全体に説明させる。 ・アンケート結果や提案理由に関する補足を示しながら、学級への所属感や連帯感が深められるような話合いになるよう助言する。	学校課題(研究主題)との関連や、人権教育上の配慮等を示し、教師の意図的な指導や支援を明確にします。
		教師としての指導・助言の留意点、評価の観点や目指す生徒(児童)の姿、評価方法等を記します。	

活動の展開	6 話し合い (1) 合唱コンクールの目標を決定しよう (2) 役割分担を決めよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年時の経験などを踏まえながら、様々な角度から考えるよう助言する。</li> <li>・提案理由は学級目標によりどこを求められるよう助言する。</li> <li>・集団決定されたことを受けて、自分は何をどう心がけるかについて、より具体的に記入するよう助言する。</li> </ul>	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いのよさを生かしながら合唱コンクールを成功させるための目標を考え、理由を示して意見を述べている。</li> </ul> <p>〔観察〕 〔学級活動カード〕</p>
	<p>生徒（児童）の思考過程や学級活動の特質に沿った活動等を記します。</p> <p>計画委員の生徒（児童）が作成した活動計画を指導案に添付するなどして活用します。（参考資料 3p.56）</p>	<p>目指す生徒（児童）の姿として、評価規準を基に、活動場面における「十分満足できる状況」を、具体的な生徒（児童）の姿として示します。その際、幾つかに分けて示すことも考えられます。</p>	
活動のまとめ	7 決定事項の確認 8 自己評価・感想の記入 9 教師の話 10 閉会の言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの流れを方向付けた発言や学級委員の活動などを賞賛するとともに実践に向けて活動意欲を高めることができるように助言する。</li> </ul>	

特に重点的に評価する部分を示すために、観点を囲ったり、下線を入れたりすることも考えられます。

### (3) 事後の指導と生徒の活動

期日	活動の場 【活動形態】	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と 評価方法
10月〇日 (○) ~〇日 (○)		・話し合い活動における決定事項に基づいて活動する。	・話し合い活動での決定事項を実践しているかどうかを見届け、必要に応じて助言する。	【思考・判断・ <u>実践</u> 】 ・目標の実現に向け、互いに信頼し支え合って決定事項を実践している。〔観察〕
略		活動内容と指導・援助の内容、目指す生徒（児童）の姿や評価方法等を記します。		
10月21日 (土)		(合唱コンクール当日) 指導の留意点や評価は、学校行事の計画による		
10月25日 (水)	学級活動 【学級全員】	・活動過程や、合唱コンクール当日を振り返り、互いのよさを賞賛するなどしながら、今後の学校生活の在り方について考える。	・生徒の活躍について、具体例を示して賞賛する。 ・成果と課題を具体的に記入するよう助言する。	【知識・理解】 ・合唱コンクールの成功に向けて学級で取り組むことの意義について理解している。〔振り返りカード〕

## 8 資料等（略）

本時で使用する資料等を示します。（課題や問題発見のための資料、解決方法等の発見や一般化、実践化のための資料など）

### 参考資料

1 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（小学校 特別活動編）

2 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校 特別活動編）

（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成23年11月）

3 楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成26年6月）

4 学級・学校文化を創る特別活動 中学校編（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成28年3月）

(参考) 学級活動カード(例)

提案理由は話し合いの根拠となります。 学級の実態  
話し合う必要性 問題の焦点化(「解決したら私たちはこうなる」)などの内容を入れて設定しましょう。

第 回 学級活動

○月○日(○) ○校時

第 学年 組 番 氏名

議 題				
提案理由				
役割分担 ( 班 )	司会		黒板記録	
	副司会		ノート記録	
時間	話し合いの順序	担当者	自分の考え・意見	
分	1 始めの言葉		.....	
	2 学級活動委員の紹介		.....	
	3 議題の発表・確認		.....	
	4 提案理由の説明		.....	
	5 先生の話		.....	
分	6 話し合い		.....	
	( 1 )		.....	
分	( 2 )		.....	
			.....	
分	7 決定事項の確認		決定事項	
	8 自己評価・感想記入		(1)では集団決定、	
	9 先生の話		(2)(3)では自己決	
	10 終わりの言葉		定をします。	
			私(たち)の実践目標、決意	
自己評価(本日の話し合いの反省)			全体を通しての感想	
1 学級目標や提案理由に沿って考えられた A・B・C・D			.....	
2 自分の意見を自分の言葉で発表できた A・B・C・D			.....	
3 他の人の意見を聞いて、生かすことができた A・B・C・D			.....	
4 決定事項を理解し、活動意欲が高まった A・B・C・D			.....	
担任				

なるべく全ての児童生徒が  
経験できるように配慮しま  
しょう。

(1)では集団決定、  
(2)(3)では自己決  
定をします。